

平成24年度 一般会計補正予算

総務

●主たる事業

△消防施設整備事業

●審査内容の主なもの

問 第一分団消防詰所建

設費および津波対策は。また、津波対策での屋上利用の考えは。

答 第七分団と同程度の

6,500万円である。屋上への点検用梯子で利用できる。

問 地方債残高は100億円を超え、更に増加が見込まれる。今後の見通しは。

答 道路整備や学校の耐震化事業など投資的経費増だ。税金が伸び悩み、財政調整基金を取り崩しているが「健全化判断基準」で見ると健全財政は維持できている。また、地方債残高でも、全体の三分の一以上を臨時財政対策債が占め、実質的借入金は70億円程度だ。危機的状況ではないが、今まで以上に慎重な運営が必要になる。

文教

●主たる事業

△岡田小学校体育館耐震補強事業

△岡田小学校太陽光発電システム設置事業

△岡田中学校体育館の耐震補強工事の財源の借り替えの理由は。

●審査内容の主なもの

問 岡田中学校体育館の耐震補強工事の財源の借り替えの理由は。

答 新たな起債は、充当率が90%から100%に、交付税措置が70%から80%に引き上げられた。ただし、償還期間は25年から10年に短縮された。

総合的に判断して、財政的に有利であるため借り替えたものだ。

問 岡田小学校に設置する太陽光発電システムの内容は。

答 太陽光パネルと蓄電池を設置する。蓄電池は5基で約1,000万円、残り約4,000万円が太陽光パネルなどの設置費だ。

今後、順次小中学校に太陽光発電システムを設置して行く予定で、その際、蓄電池も併せて整備する。

問 条例改正により、中央公民館の名称や貸館はどうなるのか。

答 中央公民館は庁舎4階社会教育課内に設置し、3階の中央公民館は、文化センターとして貸館することで利用者の増を図る。



耐震化工事中の岡田小学校校舎



耐震補強工事予定の岡田中学校体育館